

県婦連事務局だより3号

7/4令和4年度

各郡市の取り組み 高松・さぬき・観音寺

(発行香川県婦連事務局)

4月25日(月)～26日(火)

「全国女性会70周年大会」高松市婦人団体連絡協議会 香西秀美
高松市婦連の皆様方がたくさん参加してくれました。楽しい研修会だったそうです。香西さんの感想です。「山海教授のサイパニクスが弱った部分を補ってくれ、健康寿命がもっと延びること期待し、また安堵しました。私は最先端技術を不要とせず、柔軟な感性持ち、周りの人たちと共にあれこれと試してみようと思いました。」



6月19日(日) 9:00～12:00

「里ゴミ学習」さぬき市婦人団体連絡協議会 木村イツ子
会員50名が、かがわ里海大学オーダー講座「里ごみ学習会」に参加しました。門入ダム(さぬき市寒川町)周辺でのごみ拾いおよびごみ調査を行いました。その後、NPO 法人アーキペラゴ様の里ごみ・海ごみ学習講座を受講しました。前回実施した津田海岸の海ごみと比べると、里ごみはごみが原型を保っているのが、ごみの回収もしやすかったです。拾いやすいうちに回収することで海ごみの対策にもなることを学びました。



6月25日(土) 13:30～15:30

観音寺町女性防災活動隊・くらしの見守り隊観音寺 高岡令子

「避難所における健康管理とボランティア」

講師：福家伸夫氏(帝京大学名誉教授、JICA国際緊急援助隊)

会場のハイスタッフホールには200名の方が参加してくれました。医師としての視点や海外での緊急援助隊の経験からのたくさんのお話が聞けた講演会でした。1. 被災者に不必要な苦痛を与えぬよう、質を高めてゆくことが求められます。2. 災害時に必要なもの:「衣食住・便」についてはTKB48が大事である。日本の男性ではこうした環境整備に関して疎い人が多いので、女性がリーダーシップをとると手早いです。3. 避難所の健康管理についてはお医者さんなので的確に話してくれました。4. ボランティア活動については被災者が必要としていることとする。現地の迷惑にならないように気配りしつつ貢献しましょう。ボランティアは自分自身の健康管理も必要です。まだまだたくさんのお話を話してくれましたが、書ききれません。今回この企画をして良かったなあと思いました。

